

問1	3世紀の日本の様子が記された中国の史書『三国志』の「魏志」倭人伝において、約30の国々をまとめ、中国の魏に使いを送ったとされる邪馬台国の女王は誰ですか。 （2025年 長野県公立入試 類似）			
	1. 北条政子	2. 推古天皇	3. 卑弥呼	4. 持統天皇
問2	弥生時代の集落で見られる、地面を円形や方形に掘り下げて床を作り、そこに数本の柱を立てて屋根をかけた、当時の人々が生活していた一般的な住居形式を何といいますか。 （2018年 奈良県公立入試 類似）			
	1. 合掌造り	2. たて穴住居	3. 寝殿造	4. 高床倉庫
問3	弥生時代の遺跡からは、大陸から伝わった銅剣や銅矛などの青銅器が発見されることがあります。これらの青銅器の使われ方の特徴や変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2017年 岡山県公立入試 類似）			
	1. 当初は武器として伝わったが、日本では次第に豊作を祈る祭祀や儀式のための宝物として使われるようになった。	2. 弥生時代には鉄器がまだ伝わっていなかったため、青銅器が唯一の金属製武器として実戦で使われ続けた。	3. 各地の王が富を蓄えるための貨幣として使われ、和同開珎が作られるまで主要な流通手段となった。	4. 青銅器は非常に硬くて丈夫であったため、収穫した稲を加工するための農業用工具として普及した。
問4	1世紀頃、日本（倭）の小国の王が中国の漢（後漢）の皇帝に使いを送り、皇帝から臣下として認められた証として授けられたとされる金印には、どのような文字が刻まれていますか。 （2019年 長野県公立入試 類似）			
	1. 卑弥呼	2. 親魏倭王	3. 志賀島	4. 漢委奴国王
問5	邪馬台国の女王卑弥呼が、当時の中国の王朝である魏に使いを送った背景やその後の状況を説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 （2023年 山形県公立入試 類似）			
	1. 秦の始皇帝に対して不老不死の薬を献上することで、国内の争いを鎮めるための軍事支援を求めた。	2. 魏の皇帝から「親魏倭王」の称号や金印を授かることで、国内の小国に対する自らの権威を高めようとした。	3. 倭の奴国の王として、後漢の皇帝から金印を授かり、九州地方の交易の利権を独占しようとした。	4. 大陸の優れた仏教文化を直接取り入れるために、公式な使節として小野妹子を魏の都へ派遣した。
問6	中国の歴史書とそこに記された倭（日本）に関する記述の組み合わせについて、記述内容から判断して「魏志」倭人伝の説明として最も適切なものを選びなさい。 （2024年 沖縄県公立入試 類似）			
	1. 邪馬台国の卑弥呼が使いを送り、死後には大きな塚が作られて100人余りの人々が殉葬されたとする記述	2. 倭人が100余りの国に分かれ、朝鮮半島の楽浪郡に定期的に使者を送っていたとする記述	3. 倭王が中国の皇帝に対し、自らを「日出づる処の天子」と称する国書を送ったとする記述	4. 倭の奴国の王が後漢の皇帝から金印を授かり、のちに倭国全体で大きな乱れが起きたとする記述
問7	福岡県の志賀島で発見された金印には、正方形の印面に「漢委奴国王」の五文字が刻まれており、つまみの部分は蛇を模した形状（蛇鈕）となっています。この金印を奴国の王が後漢の皇帝から授かった政治的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 （2023年 富山県公立入試 類似）			
	1. 中国の皇帝から地位を認められることで、自らの権威を高めて周辺の勢力を抑えようとしたため	2. 大陸から仏教を公式に導入するための許可を得て、国内の宗教的な統一を図ろうとしたため	3. 卑弥呼が「親魏倭王」の称号を得るための事前交渉として、大陸との友好関係を築くため	4. モンゴル民族の侵攻に対抗するため、大陸の軍隊に日本列島までの援軍を要請したため
問8	弥生時代に使用された道具とその背景について述べた文として、正しいものはどれですか。 （2024年 山口県公立入試 類似）			
	1. 収穫の効率を上げるために、鉄製の鎌を用いて稲の根元から刈り取る方式がこの時代に確立した。	2. 金属器のうち、青銅器は主に木材を加工するための工具として、鉄器は祭祀用の宝物として使い分けられた。	3. 牛や馬を農作業に利用する牛馬耕が導入されたことで、大規模な水田開発が全国で一斉に進んだ。	4. 稲作が始まった当初は木製の農具が中心であったが、次第に大陸から伝わった鉄器なども使われるようになった。
問9	日本の歴史における、弥生時代の社会の様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 （2024年 山口県公立入試 類似）			
	1. 大陸から稲作の技術が伝わり、水田の近くで共同生活を送る「むら」と呼ばれる集落がつくられるようになった。	2. 衣類に用いる素材として麻に代わり綿（木綿）が全国的に普及し、庶民の生活水準が大きく向上した。	3. 日本列島がまだ大陸と陸続きであったため、人々はナウマンゾウなどの大型の動物を追って移動しながら生活していた。	4. 農業の生産力を高めるために、同じ耕地で一年に二種類の作物を栽培する二毛作の技術が全国的に広まった。
問10	佐賀県で発見された、弥生時代の大規模な環濠集落の跡として知られる遺跡について述べた文として、適切なものはどれですか。 （2016年 岐阜県公立入試 類似）			
	1. 相沢忠洋によって発見された、日本に旧石器時代が存在したことを証明する遺跡である。	2. 物見やぐらや竪穴住居が復元されており、銅鏡や銅鐸などの青銅器が出土している。	3. 戦国時代から江戸時代にかけて銀の採掘が行われた、世界遺産に登録されている遺跡である	4. 縄文時代の集落跡であり、大型の竪穴住居やクリの栽培跡が確認されている。
問11	3世紀の日本において、30余りの小国を従えていた邪馬台国の女王は、中国の王朝である魏に使者を送りました。この女王が魏の皇帝から授かった称号として正しいものはどれか。 （2018年 福島県公立入試 類似）			
	1. 親魏倭王	2. 倭王武	3. 漢委奴国王	4. 征夷大將軍
問12	弥生時代に大陸から稲作の技術とともに伝わった金属器のうち、銅とスズの合金で作られ、主に豊作を祈るなどの祭祀（祭り）の儀式に用いられた道具の総称を何というか。 （2022年 島根県公立入試 類似）			
	1. 打製石器	2. 鉄器	3. 青銅器	4. 土器
問13	弥生時代に大陸から伝えられた金属器のうち、銅鐸や銅剣などの青銅器は、主にどのような目的で使用されていたと考えられますか。 （2019年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 食物を煮炊きしたり、貯蔵したりするための生活容器として用いられた	2. 土地を耕したり木を加工したりする実用的な工具として用いられた	3. 集団の祭祀や祭りの道具として用いられた	4. 都の東西に置かれた市で、布や米と交換される通貨として用いられた